

令和7年12月1日

真庭市議会議長 長尾 修 様

令和7年度 真庭市議会ざつぱらんに語ろう実施報告書

報告者(班長) 黒川 愛

開催日	令和7年(2025年)10月29日(水) 16:30~18:30		
開催学区名	八束小学校区		
会場名	勝山高校蒜山校地 三座館		
出席議員	班長 : 黒川 愛 副班長 : 庄司 史郎 班員 : 伊藤 義則、田島 吉章、谷本 彰良、長尾 修		
参加人数	20人 (うち議員6人)		
発言の種類	発言の内容	会場での対応	備考
意見	三座館のWifiを改善して欲しい。部屋によって電波が悪い場所がある。中継器を増設してもらったが、改善されていない。	執行部に要望を伝える。	教育委員会へ伝達
意見	都会からの移住者に手厚い支援がほしい。都会からの移住者が場所によっては関係をうまく築くことができず、疎外感を感じている。住みやすい場所の情報を教えてあげる支援体制があるといい。移住者が集まって協力して住める場所を建てるのもよい。今の移住者の現況確認も必要かもしれない。	執行部に要望を伝える。	地域みらい創生課へ伝達
意見	蒜山高校への通学路に街灯がなく真っ暗で怖い。街灯を建ててほしい。	街灯は基本的に自治会で設置する。それに対し、市が補助する。但し、自治会が関係しない場所もある。その場合は市が設置する。執行部に伝える。	くらし安全課へ伝達
質問	湯原温泉病院の職員を常に募集しているのはなぜか。	病床の種類で違うが、病床数に応じ何人の看護師が必要になるか変わる。欠員が出る都度、募集をかけている。市内の病院はどこも看護師不足で困っているのが現状。	済
意見	まにわくんの本数を増やしてほしい。午前10-正午、午後4-5時の便が欠けている。10月以降は午後6時の便がなく、勝山方面から来た人は午後5時の便で帰らなければならない。学校のスケジュールと合っておらず、多くの待ち時間が生じる。	執行部に要望を伝える。	くらし安全課へ伝達

意見	道路整備が十分になされていない箇所がある。	市の道路整備は様々な制約があり十分ではない。国の補助は作る時はつくが維持管理ではつきにくいので予算が限られる。すぐ直せるわけではないが、修繕が必要な場所があれば学校の先生、蒜山振興局、議員に伝えていただければ。特に、道路には管轄があるため、わからない場合は蒜山振興局に訪ねていただければ。	済
意見	高速バスについて、岡山駅まで安価な直行バスがあるとよい。	バス会社の利権、陸運局の関係もあるためなかなか難しい部分がある。	済
意見	高校生もまにわくん通学の手当てが欲しい。	執行部も同じ問題意識を持っている。要望を伝えておく。	教育委員会へ伝達
意見	学校毎の体育館以外に公共の体育館がほしい。	学校の公共施設を共有していこうという流れがある。要望は伝える。	教育委員会へ伝達
意見	高原線は眺望がよいが近くにトイレがない。トイレが欲しい。	トイレ開放については、北部火葬場ではトイレ開放をしている例がある。要望は伝える。	産業政策課へ伝達
意見	三座館の運営が複雑。困り事がある時に岡山県、真庭市等どこに相談すればいいのかわかりづらい。	教育委員会に意見を伝える。	教育委員会へ伝達
意見	戦争遺跡に駐車場がない。戦争遺跡に駐車場・看板等周辺整備をお願いしたい。	個人の私有地についてはなんとも言えないが、要望として執行部に伝える。	生涯学習課、蒜山振興局に伝達
意見	学習交流センターを開ける時間を早めてほしい。通常午後5時30分に開放されるが、時間を潰さないといけないのもっと早く開けてほしい。	先生より以下の補足あり。教員の勤務体系の関係で早くあけることが難しい。入寮時にその点は了承いただいている。専用の舎監がいれば対応はできなくないと思われる。	教育委員会に伝達
意見	三座館の門限が早い(午後7時)。門限を伸ばして欲しい。	先生より以下の補足あり。安全配慮上の観点から19時としている。	教育委員会に伝達
意見	三座館の庭を活用したい。庭の空きスペースに作物(さつまいも)等を栽培したい。	先生より以下の補足あり。県の土地であるため活用は難しいかもしれない。	教育委員会に伝達
意見	蒜山校地にも給食が欲しい。週2回、地元スーパーが販売に来ているが、寮生は昼食の確保が難しい部分がある。市内高校の魅力化のためにも給食にしてもらえればありがたい。できれば無償化を検討いただきたい。なお、酪農大学校との連携は月木の夜だけでそのたびに職員がとりに行っている。	教育委員会に意見を伝える。	教育委員会に伝達
意見	学校にエアコンをつけてほしい。	教育委員会に意見を伝える。	教育委員会に伝達
意見	学校の自販機を増やしてほしい。	先生より以下の補足あり。業者が来た際に直接要望を伝えること。	済

意見	空き家、使わない家・土地を有効活用してほしい。	執行部も空き家調査を行って利活用の取り組みを進めているところ。交流定住センター(久世)で空き家の管理・活用に取り組んでいるため、これという場所があれば、情報を寄せていただきたい。但し、市全体で空き家活用の仕組みが有効に働いているかといえばそうでない。市全体で機能する仕組みにしていかなければならないので問題提起はありがたい。	地域みらい創生課、まちづくり推進課へ伝達
意見	バイト可能な場所が欲しい。高校生だと深夜等労働基準に違反することもあるので条件に合う選択肢が欲しい。	執行部に意見を伝える。	産業政策課へ伝達
意見	娯楽施設がほしい。	企業誘致・産業振興に関わる話。執行部に意見を伝える。	産業政策課へ伝達
意見	観光客が増えるような場所がほしい。ジャージーランドのような集客施設をもっと増やしてほしい。	執行部に意見を伝える。	産業政策課へ伝達
意見	自然あふれる蒜山を作ってほしい。太陽光も環境破壊等様々なリスクもあるため最新の注意をはらってほしい。	太田市政は蒜山において一早く太陽光等規制に取り組んでいる。執行部に意見を伝える。	環境課、まちづくり推進課へ伝達
質問	蒜山の人工林について、今後の保全策について伺いたい。	自然林、経済林、人工林のバランスが大切。国から森林環境譲与税が年間 2 億程度入ってきている。そうした財源を有効活用しつつ、バランスの良い管理ができるよう調査を進めているところ。	済
質問	国道から北部火葬場に向かう道沿いの松が松くい虫にやられている。対応は市か県か。	県の補助事業があるので確認をいただきたい。	済

令和7年12月1日

真庭市議会議長 長尾 修 様

令和7年度 真庭市議会ざつぱらんに語ろう実施報告書

報告者(班長) 黒川 愛

開催日	令和7年(2025年)11月8日(土)18:30~20:30		
開催学区名	北房小学校区(旧水田小学校区)		
会場名	湯川公会堂		
出席議員	班長 : 黒川 愛 副班長 : 庄司 史郎 班員 : 伊藤 義則、田島 吉章、谷本 彰良、長尾 修		
参加人数	15人 (うち議員6人)		
発言の種類	発言の内容	会場での対応	備考
意見	この地域には、年寄りばかりで若者がいない。家を継ぐ人もいない。	全国的問題であるが、本市は昨年、総合計画を更新し、若者、特に女性に対して注力する施策を打ち出して取り組みを進めているところ。戻ってきたくても仕事に限られるか、都市部に比べて給与水準が低いことが多い。農業であればスマート農業等時代に即した雇用の創出やテレワーク等新たな働き方など、田舎でも若者のニーズを満たせる雇用の創出やライフスタイル提案ができるよう努めていきたい。 なお、北房は、ブドウ栽培の関連で人口の社会増が見られる。 また、成功例として、蒜山の中和地区がある。同地では、えがお商店という団体を立ち上げ、移住の受け入れに力を入れてきており、現在、保育園の園児の10人のうちの8人が移住者であり、都心のうなぎ屋の移住なども見られ参考になる。	済
質問	消防団員の減少にどのように対処するか。	市の消防団では、部の統合による広域対応を進めている。OBに助力いただく、安心安全以外のことをやらないなどの対応している地域もある。自治会毎に自主防災組織で最低限の訓練をやっているところもある。なお、北房では、消防の訓練が暗黙知で伝承されているところを動画などで型式知化するといった対応を進めている。いずれにせよ、執行部に伝える。	危機管理課へ伝達
質問	蒜山にばかりに投資されている。北房にも投資して欲しい。北房には議員がなぜ増えないのか。	議員も地区推薦がなくなり、真庭全体で議員を選ぶようになってきている。地区推薦もないのでどの議員でも頼っていただければ。 蒜山は観光地としては圧倒的であるため、一定の集中投資は致し方ない。ただ、同じ税負担をして、同じように市民として暮らして	済

		いるのに、あまりに偏りがありすぎるのも問題。偏りすぎないように、是正を促していく。	
質 問	旧水田小学校跡地にガラス・プラスチック等鋭利な破片が散らばっていて危険。グラウンドの整備はどこがするのか	市の財産であれば市に管理義務があるので、執行部に伝える。	財産活用課に伝達
質 問	生ごみ分別で焼却ごみは減ったか。焼却施設の集約以前に生ごみ分別収集で人件費が下がっていない気がするがどうか。焼却炉は一日中稼働しているのか。	未だ正確なデータが出てきていないが、確実に減ってはいると思われる。焼却ごみは焼却灰が出るので最終処分場に運搬するコストが生じる。その点は生ごみ分別で下げることができる。トータルコストはデータが出てこない判断できないが、焼却炉を集約し、生ごみ分別で焼却灰の処理費用を下げつつ液肥という副産物で農地還元するというのは悪い考えではないと思う。なお、焼却施設集約でも24時間は燃やしていない。	済
質 問	焼却灰の運搬・処理はいつまで続くのか	時期は明言できないが、遠方への運搬には費用がかかる上、他自治体に処理を押し付けるというのは好ましくない。市は市内で最終処分場を探しているところ。	済
質 問	焼却灰の利活用はできないのか	基本は埋め立てであるが、建材利用等再資源化は検討の余地がある。	環境課へ伝達
意 見	通学に利用するバス停を変更してほしい。現行のジャンクションのところにバス停は危険。元あった場所(高速道路下)に移動して欲しい。	自治会長名で北房振興局に要望を出されたい。	済
意 見	コスモスクリーンセンターについて、今後、中継施設として継続するならばきちんと整備いただきたい。	執行部に意見を伝える。	環境課へ伝達
質 問	デマンドバスの利用について、状況を伺いたい。	来年から北房地域は実証に入る。	済
質 問	市補助がなくなり障がい者団体・シニアクラブ等が解散した。時代に逆行しているのではないか。	市が、「各団体が独立して事務処理をすべき」という考えを示し、社会福祉協議会への事務費分の補助金を打ち切ったため、社会福祉協議会から当該団体等団体に事務費分の補助がなくなった。これにより、事務を自前で処理ができない数団体が解散することになったという経緯がある。残念である。コストカットするにも他にあると思う。	済
意 見	若者がもっと米作りをできるようにしてもらいたい。	市は、農業支援サービス事業体により中山間地域直接支払いの手続きを助け、農地維持を支援する取り組みをはじめようとしている。	済
意 見	ガソリンスタンド存続のため、地下タンクの維持に補助金を出したらどうか。	執行部に意見を伝える。	産業政策課へ伝達

意見	道路整備が行き届いていない。また、国道のガードレール下の草刈りについてはどこに言えばよいか。	国県市道は国県市で、それ以外は受益者で修繕いただくのが原則。受益者に対する補助は、一定の受益者負担は発生するが、公共性のあるもの(2名以上の利用がある場合)は機器借り上げ、材料費等補助がある。草刈りの不行届きも市道は12,000kmあり管理が難しい。国道のガードレール下は県の管轄だが、北房振興局に言えば取りつなぎをしてもらえる。	済
意見	イノシシ・鹿の被害が年々ひどくなっている。また、電気柵の補助金申請に行ったところ、1週間～10日かかるといわれた。野生動物は待ってくれない。何とかならないのか。	市は有害鳥獣駆除に積極的である。ジビエに鹿肉を活用し、年間1,000頭を超える数を駆除しているが、シカは繁殖力が強くてなかなか減らない。猟師の数も減っているなど課題も多い。なお、有害鳥獣駆除はあくまでボランティアであるため、その点をご理解いただきたい。 イノシシについては、電気柵が有効であるが、補助申請にあたって内部の決裁を経る必要があり短期での交付は難しい場合がある。要望は伝える。なお、早い者勝ちというあり方の是正も合わせて要望しておく。	農業振興課に伝達
質問	真庭市の財政が危ないと聞いた。また、JR株式の購入について、状況を伺いたい。	真庭市の財政状況は、数値を見る限り総じて健全である。 JR株式の購入については、物言う株主という目的からは逸れているようにも思うが、姫新線存続に向けた問題提起として一石を投じるという意味では効果があったと思う。リスクがあるものに血税で投資をするのはまかりならないが、現状では資産価値が向上し、配当金や平和学習への株主優待券活用などもされているところ	済

令和7年12月1日

真庭市議会議長 長尾 修 様

令和7年度 真庭市議会ざつぱらんに語ろう実施報告書

報告者(班長) 黒川 愛

開催日	令和7年(2025年)11月16日(日)13:30~15:30		
開催学区名	余野小学校区		
会場名	余野 なつづばき		
出席議員	班 長 : 黒川 愛 副班長 : 庄司 史郎 班 員 : 伊藤 義則、田島 吉章、谷本 彰良、長尾 修		
参加人数	12人 (うち議員6人)		
発言の種類	発言の内容	会場での対応	備考
意見	<p>職員数の適正化について、非正規に依存する構造となり、正職員に負担集中しているのは問題。ただ、他自治体に比べ、人口比の観点からは職員数が多く感じる。おそらく、人口に対して面積が広い自治体ということで地域特性ということと言われるのであろうが、方向性は示されたい。</p>	<p>定員適正化については計画がある。定員適正化は都市計画を前提に検討を進めることが必要。 特に、広域合併で出先機関が多いという経緯を配慮いただきたい。太田市政は、ネットワーク型コンパクトシティを目指し、地域の多様性を尊重する政策を推進している。但し、執行部も出張所廃止等、地域の理解を得ながら人件費削減を進めているところ。 本市は、広域合併で各地域に施設が多く残り、行政効率が悪い。各地の施設を削減すれば、人件費も削減できるが市民サービス低下につながるため慎重に検討が必要と考える。 なお、定員適正化計画については、科学的な定員管理(生産性分析・外部専門家導入等)という面で検討の余地はある。 いずれにせよ、執行部には伝える。 議員定数については、人口比を目安に議員定数を申し合わせることにしている(概ね2,000人に対し議員1人程度)。今後、人口が減っていくと議員定数を見直していく。</p>	<p>総務課へ伝達</p>
意見	<p>総社市のような農業振興の仕組みの検討をしてほしい。地震は必ず来る。地震がきたらどうするのか。食料問題をもっと真剣に考えるべきでないか。総社では1反12万で管理してくれる仕組みを作っている。農業支援の団体を立ち上げたというが、そういった方向性を打ちだしたらどうか。</p>	<p>真庭市においては、総社の仕組みでは採算がとれないので、そのままでは難しいと思う。現行、無償で貸し出す仕組みはある。そもそも県南の大区画の田んぼとは作業効率が違うのでその点をご理解いただきたい。畔の草刈りや水路管理等工数も全く違う。受け手もなかなかいないという難しさがある。米の価格も、儲けを出せる水準にならないと以前の単価に戻るようでは厳しいと思われる。 なお、これからは営農法人による共同運営形態で機械のシェアリングやスマート農業等</p>	<p>済</p>

		による効率化を進めていくのが一般的になると考えている。	
意見	保育園・子育て支援について、子育て支援課はこども園からどのように意見を収集する仕組みをもっているのか。年一回の監査以上のものがほしい。保護者懇談会にも参加していないようで、もっと保護者の意見を聞く努力をしてほしい。	星のこども園については、職員数が定員 120 人に対し 91 人しか入所できていない。子育て支援課より問い合わせや保護者にアンケートを行ったと聞いている。保護者の声を聴く場を市はなかなか持っていない。こども子育て会議という場を設けているが、課題が多すぎて声を聴く時間がとれていない。現場の職員も学童も多忙で意見を聞ける状況にない。外部の人を雇って保育園を廻ってもらうというの難しい部分がある。難しい状況ではあるが、保護者の意見を聞けないことが人口流出につながる可能性があるため、声を聴く努力は引き続き求めていく。保護者の意見をもっと聞き取るべきという意見は執行部に伝える。	子育て支援課へ伝達
意見	公立高校の今後の指針と現状はどうなっているのか。私立高校無償化を見越し私立と戦えるよう県教委も努力してほしい。	県立高校は県の管轄であるため、立ち入れない部分がある。高校再編・魅力化で議論をしているが現状、具体的な中身が見えていない状況。引き続き注視していく。	済
意見	市の図書室に絵を飾るとどうか。図書室に絵を飾ると短時間見ただけで血圧が下がるという。	市立図書館では現状も絵を飾っている場所が多い。	済
意見	地域資源のブランド化について。山中一揆ゆかりの弥次郎嶽等を観光スポット化してはどうか。聖嶽もあり、神庭と聖でブランド化できるのではないか。	執行部に伝える。	産業政策課へ伝達
意見	日本の宗教教育は不十分であり、統一教会問題も引き起こされた。真庭で全国に先駆けて宗教を学べるようにできないか。	近年、新宗教により社会的に弊害が生じるような事案があったことは事実。戦後宗教教育がタブーとされたことに一因があると言えばそうかもしれない。但し、政教分離で行政には立ち入れない部分がある。一般論として、中立性を保ちつつ伝統や歴史的な部分について学ぶことは不可能ではないと思われるため、執行部に要望は伝える。	教育委員会へ伝達
意見	県北医療体制の不足について、同じ保険料を払って県北・県南で医療体制に差があるのは問題と感じている。	医師配置は県の責任。市は同様の認識をもって県に働きかけを行っているところ。	済